

「新たな公立保育所」の取組の機能強化による（仮称）保育・子育て総合支援センターの開設について（案）

1 これまでの「新たな公立保育所」の取組

（1）本市の保育施策を取り巻く背景

子育てを取り巻く環境の変化や社会的な問題に対応するためには、地域や社会全体で子どもと子育て家庭を支える仕組みづくりが必要であり、これらの課題に対応するための公立保育所の役割が求められてきました。

＜子育て支援の課題と公立保育所に求められる役割＞

公立保育所の専門性 ●施設・設備の活用 ●子育て支援に関するスキル ●専門性の活用（保育士、看護師、栄養士等） →地域の子ども・子育て支援の中心的役割を担う	待機児童対策に伴う民間保育施設の増加 ●保育施設の増加、民間活力の積極的導入 →保育の質の維持・向上 ※公立保育所を中心とした民間認可保育所・認可外保育施設との連携・交流、支援の必要性	多様なニーズへの対応 ●在宅での子育て（約35%） ●特別な支援が必要な家庭（要個別・専門的支援）→線の支援 ●地域全体で子育てを支える環境づくり→面の支援
---	--	--

（2）「新たな公立保育所」のあり方基本方針の策定

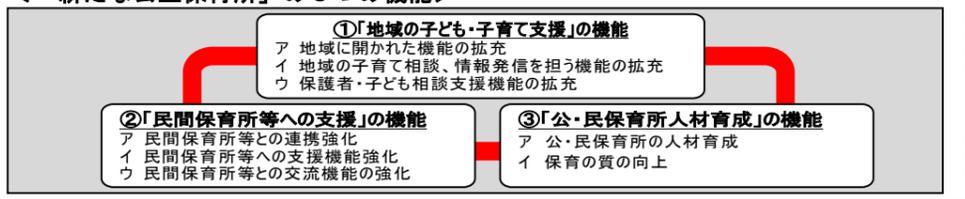
平成23年3月策定の「第2期川崎市保育基本計画」の中で、「認可保育所の運営のあり方」を踏まえた公立保育所の再構築を位置付け、その再構築を行い、本市保育施策の中心となる「新たな公立保育所」として平成24年9月に基本方針を策定しました。

（3）「新たな公立保育所」の機能

「新たな公立保育所」は、既存の公立保育所の機能を維持し、**保育の実践**を行い、更なる**専門的知識及びノウハウ等の蓄積**を図るとともに、**3つの機能を強化**し、各区にセンター園とランチ園2園を位置付け、平成26年4月から全区で実施してきました。

区	センター園	ランチ園	区	センター園	ランチ園
川崎区	大島・大島乳児	東小田 藤崎	宮前区	土橋	菅生 中有馬
幸区	河原町	古川 夢見ヶ崎	多摩区	土淵	生田・生田乳児 菅
中原区	中原	中丸子 下小田中	麻生区	白山	上麻生 高石
高津区	梶ヶ谷	蟹ヶ谷 津田山			

＜「新たな公立保育所」の3つの機能＞



「新たな公立保育所」これまでの経過

- H23/3 **かわさき保育プラン策定**
→「認可保育所の運営のあり方」を踏まえた公立保育所の再構築
- H24/9 **「新たな公立保育所」のあり方基本方針を策定**
(H24/11 市民委員会において報告)
- ＜「新たな公立保育所」の取組開始＞
- H25/4 **川崎区、宮前区先行実施**
- H26/4 **全区実施開始**
- H27/3 **子どもの未来応援プラン策定**
→老朽化対策と機能強化の推進
- H28/2 **大島・大島乳児保育園の再整備（H28～基本・実施設計）**
(H28/2 市民委員会において報告)
- H30/3 **子ども・若者の未来応援プラン策定**
→（仮称）保育・子育て総合支援センター工事着手（大島）

＜保育・子育て総合支援センター開設に向けての今後の課題と方向性＞

（ア）「川崎区保育・子育て総合支援センター」の開設

大島保育園の新園舎完成に伴い、「新たな公立保育所」の3つの機能である「地域の子ども・子育て支援」、「民間保育所等への支援」、「公・民保育所人材育成」の強化と取組の具現化を図るため、平成31年8月から「川崎区保育・子育て総合支援センター」の開設を目指します。（予定）

（イ）全区開設への整備計画の検討

「川崎市総合計画第2期実施計画」においては、センター園2園（大島、中原）、ランチ園3園（生田、古川、藤崎）については、計画上に建替えが位置付けられていますが、今後においては、センター園を中心とした整備計画を検討します。また、平成31年度開設予定の「川崎区保育・子育て総合支援センター」における整備内容については、追って整備を進めるセンター園の標準（指標）と位置付け、建物、体制、機能等の検討に役立てられるよう検証します。

（ウ）「保育・子育て総合支援センター」としての仕様の検証

平成31年度開設予定の「川崎区保育・子育て総合支援センター」については、「新たな公立保育所」の3つの機能として位置付けた取組の具現化を目指し、取組の推進を図ります。今後におきましては、「川崎区保育・子育て総合支援センター」を基に施設としての指標の検証を含め、平成32年度以降のセンター開設（中原）に反映させます。

（エ）「保育・子育て総合支援センター」における取組の強化充実

「保育・子育て総合支援センター」において実施を予定している様々な取組等については、センターの整備に伴い実施内容の強化、または充実されるものも想定されるため、それぞれの取組の実施にあたっては、人員、スペース、実施時間等を検証し、適切な時期からの実施開始を目指します。

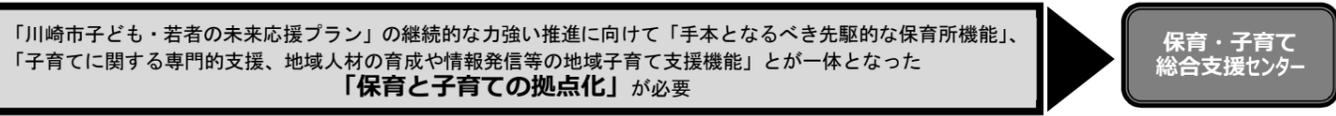
今後については、平成33年度をもって、公立公営保育所の民営化の完了が予定されていることから、平成24年9月に策定した「新たな公立保育所」のあり方基本方針による各区3園（センター園1、ランチ園2）による公立保育所運営体制となります。これにより、各区一定の仕様の中で、今後のセンターにおける機能強化や整備の検討を行い、最終的には各区に**1か所計7か所の保育・子育て総合支援センターの開設**を検討します。

＜今後の公立保育所の建替えスケジュール（参考）＞

保育園名【区名】	平成29年度(2017年度)	平成30年度(2018年度)	平成31年度(2019年度)	平成32年度(2020年度)	平成33年度(2021年度)
大島・大島乳児保育園【川崎区】	事業実施予定期間（※入札不調により当初予定から延期）			平成31年8月開園予定	
生田・生田乳児保育園【多摩区】	事業実施予定期間（※入札不調により当初予定から延期）			平成31年12月開園予定	
古川保育園【幸区】	事業実施予定期間			平成32年7月開園予定	
中原保育園【中原区】	事業実施予定期間			平成32年10月開園予定	
藤崎保育園【川崎区】	事業実施予定期間				平成33年12月開園予定

2 「新たな公立保育所」から「保育・子育て総合支援センター」へ

「新たな公立保育所」の3つの機能の強化とその取組の具現化に向け、さらに「子どもの未来応援プラン」の継続的な力強い推進に向けて「手本となるべき先駆的な保育所機能」、「子育てに関する専門的支援、地域人材の育成や情報発信等の地域子育て支援機能」とが一体となった「保育と子育ての拠点化」が必要なことから、平成30年3月策定の「川崎市総合計画第2期実施計画」及び「川崎市子ども・若者の未来応援プラン」では大島・大島乳児、中原保育園の建替えに伴い、「保育・子育て総合支援センター」への移行を位置付けました。



3 「保育・子育て総合支援センター」の開設に向けて

「保育・子育て総合支援センター」の開設については、地域における「保育」と「子育て」の「一体的な事業推進拠点」としての考え方を念頭に、**各区の公立保育所の建て替えに合わせ、計画的に行っていく必要があります。**

（1）「保育・子育て総合支援センター」の開設に向けた今後の方向性

「保育・子育て総合支援センター」については、**保育所機能に併せ、地域に密着した子育て支援の実践の場として、これまで培った子育て支援機能とそこに付随する様々な資源や取組を連携・活用し、平成31年8月から「保育・子育て総合支援センター」の開設を目指します。（予定）**

＜保育・子育て総合支援センターの主な取組（例）＞

- （ア）地域の子ども・子育て（イ）子育てに関する事業を行う者等への支援、連携及び調整（ウ）子育てに関する事業を行う者等の人材育成（エ）地域子育て支援拠点事業（地域子育て支援センター）（オ）保育事業 等

「新たな公立保育所」機能を踏まえた「保育・子育て総合支援センター」（イメージ）

